

川崎市外国人市民代表者会議



KAWASAKI CITY
川崎市

ニュースレター No. 49

編集・発行：市民・子ども局人権・男女共同参画室 2014年1月15日発行
(日本語) <http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/60-7-2-0-0-0-0-0-0-0.html>

(やさしい日本語) <http://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000042748.html>

「インターナショナル・フェスティバルinカワサキ」と「多文化フェスタさいわい」に参加しました

7月7日(日)、国際交流センターで「インターナショナル・フェスティバルinカワサキ」が開催されました。当日は、さまざまな国の歌やダンスが披露されたり、また、世界各国の料理が販売されたりと盛りだくさんの内容でした。私たち代表者会議は今回がはじめての参加でしたが、参加者の多さと会場の盛り上がりがあった雰囲気にとっても驚きました。

9月29日(日)には、幸市民館で「多文化フェスタさいわい」が開催されました。多文化フェスタさいわいは、幸区役所が主催したイベントで、地域の方々が多く訪れました。どちらのイベントもそれぞれの良さがあり、いつもの会議とは違う雰囲気を味わいながら参加することができました。

今回のイベントでは、主にパネルを使って代表者会議のPRをしました。代表者会議の存在を初めて知ったという外国人の方や代表者会議の活動についていろいろと質問をしてくださった日本人の方もいらっしゃったので、とてもよいPRになりました。

また、「世界のクイズ」は、子どもはもちろん、大人にも人気が、楽しみながら異文化交流ができました。どちらのイベントもぜひ来年も参加したいと思えるものでした。



◆インターナショナル・フェスティバルinカワサキ◇



◆多文化フェスタさいわい◇

<2013年度の代表者会議の日程>

時間：午後2時から午後5時まで

場所：川崎市国際交流センター

(東急東横線 元住吉駅から徒歩約10分)

アクセスMap：<http://www.kian.or.jp/accessmap.shtml>

第4回 第1日 1月19日(日)

第4回 第2日 2月16日(日)

誰でも傍聴すること(聞くこと)ができます。

ぜひ代表者会議を見に来てみてください。



おーぷんかいぎ かいさい 〈オープン会議を開催しました〉

2013年度のオープン会議が11月17日(日)に中原市民館で開催されました。オープン会議は、普段、代表者会議で審議していることを紹介し、代表者以外の参加者からの意見を聞くことで、代表者会議での審議の参考にすることを主な目的にしています。

今年度は、全体で約120名の参加者があり、14時から17時まで約3時間の会議を行いました。会議の前半は、横浜市立大学の坪谷美欧子准教授に「外国人コミュニティと地域社会のつながり」というテーマで基調講演をいただきました。外国人コミュニティの役割について、専門的な立場からお話をいただくとともに、外国籍住民が多く住む団地の自治会の試みや外国につながる若者たちの活動など、具体的な事例も紹介しながら、その現状や課題について講演をいただきました。参加者のアンケートからは、「大学の講義のようで新鮮だった」「日本人と外国人であっても、共通の課題を抱える住民という考え方をすることで文化の壁を乗り越えることができるといった感想がみられました。



会議の後半では、園田 泉 ベアトリス福祉教育部 会長とチャートでビト社会生活部 会長が代表者会議の審議内容を紹介します。たくさんの参加者から意見をいただきました。とくに、これまでの代表者会議でも重要な課題として議論されてきたテーマのうち、区役所などの窓口での外国人への対応や情報伝達の重要性に関しては、参加者からも多くの意見がでました。また、コメンテーターとして慶應義塾大学の柏崎 千佳子教授と駒澤大学の中野裕二教授にもご参加いただき、貴重なアドバイスやコメントをいただきました。



また、会議の参加者同士が相互に交流を深めることも、この会議の目的の一つです。今年度は、会議終了後の交流パーティーにも多くの日本人や外国人の市民の方が参加し、とても盛りあがった会議となりました。

■ 司会者の感想



今回、私は2回目の司会でした。基調講演のテーマだった「外国人コミュニティ」の話はとても勉強になりました。全体会では、たくさんの参加者から意見や感想を聞くことができました。我々代表者が会議で話し合っている話題や目的を参加者に説明でき、今回のオープン会議はとても満足できる内容になりました。(シフケン ブランドン)

今回、オープン会議で司会の一人を務めさせていただき、いい経験になりました。基調講演は少し難しく感じる部分もありましたが、川崎市に住んでいる外国人のために役立つ内容だったと思います。今回のオープン会議は、進行もスムーズに進めることができ、参加者の意見もたくさん聞けて、とても活発な会議になったと思います。(ケオパサー ラツアミちゃん)



せかい しょうがつ しんねん いわ 世界のお正月（新年のお祝い）



せかい には、たくさん の 民族 や 宗教 があります。そして、それぞれの国 や 地域 によってお正月（新年）のお祝い の 仕方 もさまざまです。

そこで、今回は世界の国 や 地域 のお正月について紹介したいと思います。



まず、中国ではお正月は旧正月や「春節」と呼ばれます（2014年の春節は1月31日です）。また、中国では旧暦（太陰太陽暦）に従っているため、例年、お正月は1月下旬から2月中旬になります。大みそかは「除夕」といい家族そろってご馳走（「年夜饭」）を食べ、年越しには餃子を食べます。夜には一晩中、花火と爆竹が鳴り響きます。台湾、香港でも中国本土と同じく旧正月でお祝いをします。

シンガポールやマレーシアには多くの民族がいるため、お正月が年に4回あります。ただ、シンガポールは7割の人が中国系のため、やはり旧正月のお祝いがひときわ盛大です。

韓国は西暦と旧暦の2本建てです。韓国は儒教思想の影響もあり、一家団欒というよりも、祖先の霊を祭り、目上の人を敬うことが主な目的のようです。



スペインでは、新年の12ヶ月間の幸せを願い、教会の鐘の音に合わせて12粒のブドウを一粒一粒食べます。明け方にはホットチョコレートドリンクとチュロスを食べるために出かけることで1日の終わりです。

ブラジルでは、大みそかの夜になるとみんなで新しく用意した白い服を着ます。白い服は平和を意味しています。

ロシアでは、新年は家族で迎えるのが一般的です。また、ロシアではロシア正教の暦（ユリウス暦）に従うため、クリスマスは12月25日ではなく1月7日です。そして、ロシア版のサンタクロースは「ジエツ・マロース」という名前で、孫娘の「スネグーラチカ」と一緒に新年の1月1日にプレゼントを配りにやってきます。クリスマスツリーは「ヨールカ」という名前で、1月14日ころまで飾られます。



さまざまな国や地域でお正月の祝い方は違いますが、新年を待ち望み、幸福を求めるのはどこでも共通の願いですね。

（楊 奕／生出 オリエッタ／柳澤 アンナ）

【お問合せ】

かわさきししみん きょうじんけん だんじょきょうどうさんかくしつ かわさきしかわさきくみやもとちよう
川崎市市民・子ども局人権・男女共同参画室 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1

Tel : 044-200-2359 Fax : 044-200-3914 E-mail : 25gaikok@city.kawasaki.jp

だいりょうしゃかいぎ に ゆーずれたー いけん かんそう ま
代表者会議やニューズレターへのご意見・ご感想をお待ちしています。

この紙は、古紙パルプ配合率70%の再生紙を使用しています。

